

ときめ**輝**びと

地域の魅力を次世代へ伝えたい



きんたろう会 会長

北村 與作さん(鳥羽上町)

撮影場所: 西黒田公民館

日本の代表的な昔話の一つ「金太郎」。その金太郎伝説の残る西黒田地域で郷土史の研究を続けている北村さん。20代半ばから郷土史研究会に所属し、「きんたろう会」という名前になった現在は会長を務めます。

研究会に入ったきっかけは、当時の会長が語った地域の物語。もともと興味があったこともあって数々の逸話に引き込まれ、「誰かが受け継ぎ伝えていかなければ」という意識が芽生えたそうです。郷土史の本の出版や、金太郎伝説をテーマにしたまちづくりを通じて地域の魅力や人との温かい繋がりに触れ、郷土史への興味から次第に強い郷土愛が育っていきます。

北村さんの取組はさらに広がります。米原市菅江と鳥羽上町を結ぶ「横山隧道」は、38年の歳月を費やし大正12年に完成した煉瓦造りのトンネル。新横山トンネルの開通で隧道は使われなくなりましたが、当時悲願だった隧道を築いた先人の苦労を讀えようと「横山隧道保存会」を昨年5月に発足。隧道を守りたいという想いは隧道向こうの菅江自治会とも一致し、新たな交流も生まれました。清掃など保全活動を行い、将来的には「近代土木遺産」に指定されればという目標も。「隧道を核としたまちづくりは始まったばかり。高齢者ばかりなのでぼちぼちやります」と穏やかに語りながらも、目にはやる気が満ちあふれています。

北村さんの活動の動機の一つは、進む過疎化。「子どもたちにこそ地域のよさを知ってほしい。誰かがやらなければ」と使命感を持ちます。しかし、その使命は自分のためだと話します。「地域や人のためになることは、巡り巡って自分のためになる」と語る北村さんを慕う地域の人々は数多。「與作さん、與作ちゃん、とみんなが頼ってくれるのが喜びなんです」。

北村さんが次に目指すのは、自らが生きてきた時代を伝えること。「戦後の高度成長を知るのは自分たちの世代。記憶や思い出は時が経つことになくなっていくもの。語り部を集めて形にしたい」。地域の歴史と魅力の伝道師としての挑戦はさらに続きます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。
笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。
掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



笑った顔、泣いている顔、甘えん坊の顔…
どんな圭ちゃんも大好きだよ♡
毎日幸せをありがとうね！

徳永

圭吾ちゃん
(平成28年4月生まれ)

(北野町)

北川

大翔ちゃん
(平成28年3月生まれ)

(内保町)



1歳の誕生日おめでとう！
いつもみんなに笑顔をくれてありがとう♡
これからもいろんな事楽しもうね♪

まちの
人口

平成29年3月1日現在	人口 119,957人	男 58,644人	女 61,313人	世帯数 44,983世帯
平成29年2月中の異動	転入 185人	転出 176人	出生 63人	死亡 130人 婚姻 32件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報をご希望の人は市民広報課まで。